

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス Retreat		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 16日		令和8年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 23日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができています。	日頃から連絡帳を通して保護者との情報共有を行い、子どもさんの様子やご家庭での状況を把握しています。保護者からのご相談や気になる点については、必要に応じてお電話や面談の機会を設け、対応しています。また、内容に応じて個別の支援メニューの追加や関わり方の調整を行い、子どもさん自身からも話を聞くなど、個別対応を心がけています。事業所での様子についても、連絡帳で伝えきれない部分は電話や送迎時に直接お伝えし、双方向での理解が深まるよう工夫しています。	丁寧な連携をより充実させるため、定期的な面談はもちろん、日頃から声かけや関わりを大切にし、気軽に相談しやすい環境作りに努めてまいります。保護者からいただいた情報や子どもさんの様子を職員間で共有し、支援の統一や支援の質の向上に繋げていき、安心して相談できる関係作りと、よりきめ細やかな情報共有の充実にも努めてまいります。
2	事業所の支援に満足いただいている。	子どもたちが安心して過ごし、自分の思いや姿を大切にしながら過ごせるように支援しています。	より満足度の高い支援を目指し、子ども一人ひとりが安心して過ごせる環境作りを継続するとともに、自己表現や自己選択の機会を増やしていきます。また、日々の関わりの中で得られた気づきをもとに、支援内容や環境設定の見直しを行い、よりその子らしさを大切に支援へと繋げていきます。保護者との連携を深めながら、子どもさんの変化や成長を共有し、安心感と信頼感の向上に努めてまいります。
3	こどものことを十分理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援。	一人ひとりの特性に合わせた支援を行うため、ケースごとに丁寧に状況を把握し、日々の関わりの中で得た気づきをもとに、会議や振り返りを頻繁に行っています。各分野の視点を取り入れながら、その都度支援内容を見直し、子どもの状態に応じて柔軟に対応できるよう工夫しています。	今後も、多角的な視点を取り入れながら、より専門性の高い支援の提供に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動や保護者同士の交流の機会。きょうだい向けのイベントによるきょうだい同士の交流などのきょうだいへの支援。	日々の療育活動の実施や保護者のご都合もあり、定期的な実施が難しい状況があります。	今後は、必要に応じて無理のない形で交流の機会が持てるよう、方法を検討し、計画的に行ってまいります。
2	生活空間について、こどもにわかりやすく構造化された環境。また事業所の設備等が、障がい特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切である。	今年度は視覚的に分かりやすい掲示や子ども一人一人に合わせた個別のスケジュールの提示に取り組み、子どもが見て分かりやすい構造化を進めてきました。	今後はさらに、個別の特性に応じた環境調整や情報伝達の工夫を重ね、安心して過ごしやすい環境づくりを充実させてまいります。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている。	個別にペアレント・トレーニングに繋がる情報提供や相談機関への紹介を行ってきましたが、保護者全体への研修は開催できませんでした。	来年度は、計画的に家族に対しての研修会やニーズがあれば情報提供を行ってまいります。